



小中学校の 教育環境 について



◆小中学校の校庭の芝生化

問 教育環境の向上と地域活性化のため、学校と地域が連携して校庭の芝生化は実現できないか。(石井)

答 現況では、実現は難しいが、「協働のまちづくり」と考え研究したい。

◆学校と地域の係りについて

問 学校評議員、学校支援ボランティア、社会人講師の活動状況と学校運営協議会の設置は考えているか。(石井)

答 それぞれ定着し学校で活用されている。今後はさらに充実を図り地域に開かれた学校を目指す。学校運営協議会の設置はまだ考えていない。

◆新入生の交通安全帽子

問 着用状況に変化が見られるか。(石井)

答 着用期間が短くなったようだが、安全効果が高いので保護者の理解を得ながら今後も配布を続ける。

◆中学の部活について

問 中学の部活の現況と教職

員の指導体制は。(石井)

答 84%の生徒が入部。運動部が中心で文化部の新設は難しい。講習会の活用や外部指導者の協力を得ていく。



◆給食費の未納について

問 学校だけでの対応には限界がある。市としての対応策はあるか。(石井)

答 未収金がないよう学校ぐるみで協力体制をとっていく。

◆完全米飯給食について

問 米の消費拡大対策として米食の習慣付けのための完全米飯給食の実施は。(石井)

答 地産地消を取り入れ、国内産の食材にこだわり、バランスの取れた給食を提供している。現状で良いと考える。

◆子供議会の開催提案

問 子供たちの民主主義教育を目的として、子供模擬議会を開催してはどうか。(金子)

答 学校行事等との兼ね合いもあるが、今後、十分に検討・実践の余地がある。

◆子供の安全について

問 来年四月実施予定の地域見守りシステムの家庭負担が大きすぎるが、月額リース等軽減策を考えているか。(中原)

(中原)

答 実施までにはリースも含め軽減策を検討する。

問 宗賀洗馬、牧野間のJRガードの安全策は。(中原)

答 車歩分離方式や交通規制などの方法を含め検討する。

安心安全の まちづくり 構築は



◆地震等の災害対策について

問 本部機能、避難勧告、防災備蓄品の充実を。(永井)

答 本部の機能移転は、市庁舎の耐震診断結果を見て検討する。防災無線は、移動系か同報系か、デジタル方式変換を含めて研究中、必要物品は更に精査し備蓄を検討する。

◆市民の安全な誘導を

問 緊急地震速報システムの導入の予定はどうか。(山口)

答 地震速報を市が有効に利用できる防災システムであるので現在研究中である。



狭いうえに、見通しの悪いJR牧野ガード



給食費の未納対策を



学校と地域が連携して校庭のあり方の研究を